論文表題　ＭＳゴシック14ポイント、中央よせ

― 副題　ＭＳゴ・12p中央よせ ―

現　代　太　郎（氏名はＭＳゴ・12ｐ・下寄せ・字間一字あけ）

Abstract

要旨は本文が日本語の場合は英語（240語まで）。大きさは９ポイントを使用。英語のフォントはTimes New Romanに設定すること。母国語以外の言語を使用した場合は言語表現の確認が可能な者にチェックしてもらうこと。

キーワード……ＭＳゴ・９ｐ　本文で使用した言語で３～５語記入。

1見出し　MSゴシック　１１ｐ

2見出し　MSゴシック　９ｐ

3見出し　MSゴシック　９ｐ

日本語縦書きB5の用紙１枚に29字×23行の２段組で表題、氏名、要旨、キーワード、本文、図表、注を含めて19枚まで。文中に欧文を用いる場合Times New Roman。数字はTimes New Romanで半角。注は最後にまとめてつけること[[1]](#endnote-1)。

図・表は、After the mentionの原則（図・表を掲げた後に説明するのではなく、あらかじめ言及した後に図・表があらわれるように設定すること）に従って各自で挿入すること。それぞれの図・表には通し番号と表題をつけること。また、単位、出所、執筆者による作成であればその趣旨を忘れずに明記すること。

表１．諸伝本における〈彗星出現〉の記述

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 諸本の記述 | 彗星出現の時間 | 彗星の記述位置 |
|  | Ｃ | Ｂ | Ａ |
| 四部合戦状本源平闘諍録 | 延慶本長門本 | 竹柏園本平松家本百二十句本 | 屋代本源平盛衰記 | 国民文庫本中院本 | 覚一本流布本 |
| 欠巻なし |  |  |  | ●解釈あり●解釈あり |  | 治承元年十月廿五か廿七日 | 巻二の末部 |
| ●解釈あり●解釈あり | ●解釈あり●解釈あり●解釈あり | ●解釈あり●解釈あり |  |  | 治承元年十二月廿四日 |
| なし欠巻 | **◎**解釈？**◎**解釈？ | **○**解釈なし**○**解釈なし**○**解釈なし |  |  | **○**解釈なし**○**解釈なし | 治承二年正月七日 | 巻三の初め |

（出所）楊夫高「天変地異記事と平家物語」『現代社会文化研究』第三十五号、十四頁。

ページ左右の余白は、21mmです。図・表がはみ出さないように注意して下さい[[2]](#endnote-2)。

現代社会文化研究科[[3]](#endnote-3)。

# <注>　詳細は各号最終頁に掲載されている補足の注および引用文献の表記を参照すること

1. 脚注は文末脚注を選択し、自動脚注番号で1,2,3,4‥を選択して下さい [↑](#endnote-ref-1)
2. 紀要はほぼ皆さんが作成した原稿のイメージ通りに印刷されます。左右の余白に注意して、図・表を挿入して下さい。 [↑](#endnote-ref-2)
3. 注を挿入するときには句読点の前に入れるようにして下さい。

# <引用文献>　引用文献一覧は、括弧方式の注を採用した人のみ掲載する

著者姓、名、（出版年）『書籍タイトル』、出版地（省略してもよい）、出版者

著者姓、名、（出版年）「論文タイトル」『雑誌名』、巻、号、頁

主指導教員（○○○○教授）、副指導教員（○○○○教授・○○○○教授） [↑](#endnote-ref-3)